

回会報

新日本美術協会

事務局
千葉県柏市大津ヶ丘
3-17-17-401
森屋治三方
Tel.04-7191-6760

編集委員
本部 小高峯夫
富岡ネム
京都 大石亨
広島 四方公二
藤原清

第三十五回記念展間もなく開催

会期 十月二十七日(木)～十一月二日(水)

上野の森美術館

搬入 十月二十日(木)・二十一日(金)
(株)東美

表彰式と懇親会 十月二十九日(土)
上野精養軒

実行委員長 富岡ネム

本展を目前に控えて皆様いかがお過ごしでしょうか。暑さと節電に気を取られているうちに最も大事な記念展の開幕です。紋切り型の挨拶はよしにして、ここはもうやるっきゃないのです。はやる心に押し出されるように夢中で制作したある時期、じっくり試行錯誤を繰り返した時期等など、各々制作に向かい合う気持ちは異なっても、年に一度の本展は容赦しません。さあ、此の絶好の機会を新たな次の出発へと結びつけようではありませんか。皆様力作を期待いたします。

事務局からのお知らせ

事務局長森屋治三

新日美展はめでたく三十五周年を迎えることになりました。第三十五回記念展では、皆さんの熱意あふれる創造性豊かな作品で会場が埋め尽くされることを願っています。記念行事として二十五年以上在籍会員の表彰、記念賞を設けるとしております。本展まで秒読み、皆さん出品準備如何ですか。七月末に送付した「新日美展関係書類」をもう一度ご確認の上お間違えの無いようにお願いします。

- ① 作品の扱い・搬入出などについて疑問なこと、不明なことなど何でも構いません。事務局又は業者(東美)まで、お問い合わせ下さい。
- ② 外部委嘱審査員 東京造形大学名誉教授 芳賀先生による、ギャラリートークを行います。
十月二十九日(土)、三十日(日)13:00～15:00 受賞作品及び出品者で希望される方の作品講評(会場で受付)を行います。大勢の方のご参加(一般の方)をお待ちします。
- ③ 表彰式・懇親会の「出欠」について、同封のハガキに記入の上十月二十五日(火)必着で投函して下さい。年一回の懇親会です大勢の方々のご出席をお待ちします。

④ ポストカード、写真の作成を希望される方は、先日お送りした「ポストカード注文書」にご記入の上、十月十九日までに「東美」まで申し込み下さい



昨年 34 回展の表彰式後の 懇親会風景

中尾会長からのメッセージ

森屋事務局長殿 平素より大変お世話になっております。父は七月二十五日より再び埼玉医大に入院いたしました。形成外科の治療を受けておりますが、今月(八月)の十一日には川越リハビリテーション病院に転院し少しの間リハビリをした後自宅に戻る予定でございます。尚、先日のお問い合わせの件を伝えたいところ次のようにお返事するようになったことだったので記します。

「突然の病に倒れ皆様には、多大なご迷惑をおかけいたしました。展覧会には、車椅子で参加しようと考えております。これまで、心のこもった 有難いお手紙やお言葉を頂き誠にありがとうございます。」

香川支部長に就任して 平野凱彦

拙宅からS.Lのある公園を挟んで一ブロックちよつと東、時間にして約三分ほどの距離に美術・文化の面で県勢をリードしている高松工芸高校があります。中尾会長はじめ、中村・大川・山崎各名誉会員など、新日美創立当初主要な方々が学び卒業された出身校なのです。

私の新日美入会の動機も、こうした先生方とも同郷という親近感と、地元でも隔年に一回、中央に出品した作品が見られるという点にありました。

入会した平成九年当時、大川先生が支部長で会員数も十八名を数えており、九月末の年一回の支部展、それに美術館の施設を借りての作品研究会など大川・山崎両先生の二人三脚で活動も非常に活発でした。私も末席ながら積極的に参加をして行きました。

ところが、これから五年の間に、どうしたとか一人離れ、二人離れ、また急逝されていく方が続出、両先生の跡を継いでくれる方々がなくなり、若輩の私に、平成十五年事務局のお鉢が巡って来、この年以後、都合三回の高松巡回展施行を中尾会長、それに本部役員の方々に、大川・山崎両先生のご指導、地元会員のご協力を得て曲がりなりにも終了し得たことは、自身にとって大変な自信になったと思うと同時に、新日美に対する思い入れが一層強くなったと感じております。

此の度香川支部長推挙のお話を頂戴し、去る平成二十三年度総会に於いて、支部長の委嘱状を拝することになりました。中尾会長、そして本部役員の方々、また各地方の支部長始め会員の方々、どうか今後共に、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。私の就任のご挨拶いたします。